２０２２年度　自己評価（職員）の集計結果

実施日 2023.3　実施人数　２４名

１年間の自分の保育を振り返り、よいところはさらに伸ばし、改善すべきところはきちんと改善して来年度の実施につなげていこうと考えています。以下は、集計結果です。

養　護

① 子どもの思いを大切にしながら対応している。

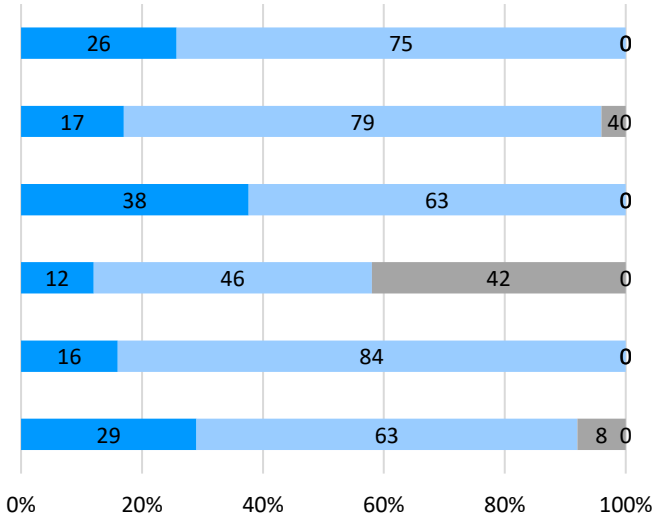
② 子どもが理解しやすい温かな言葉遣いで、その子に聞こえる程度の声の大きさで話している。

③ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを汲み取るように努力している。

④ 「早くしなさい」とせかす言葉や「ダメ」「いけません」等の静止や禁止ことばを不必要に使わないようにしている。

⑤ 「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて温かく対応している。

⑥ 子どものサインを見逃さず、子どもが安心して話したくなるような雰囲気づくりをしている。



■かなりできている　■できている　■あまりできていない　■できていない

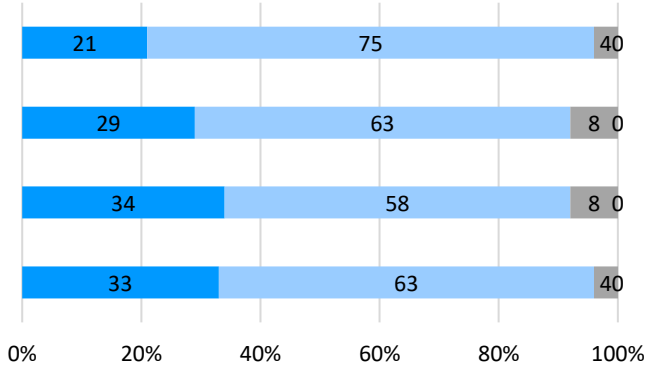
健　康

① 活動に際して、子どもが健康・安全に過ごせるような内容・環境を工夫・配慮している。

② 排泄に際して、子どもが自ら進んでいけるような配慮や工夫をしている。

③ 保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮している。

④ 子どもの命を守るため玩具や遊具の安全管理と、子どもの行動から目を離さないよう責任を持った保育をしている。



■かなりできている　■できている　■あまりできていない　■できていない

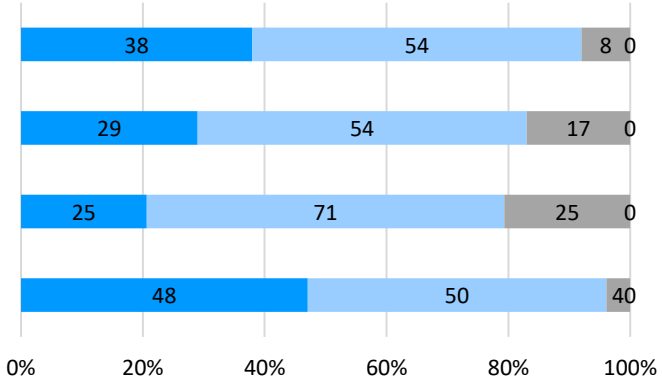
人間関係

① 子ども同士の関係を良くするような言葉かけをしている。

② けんかの場面では状況を適切にとらえ、双方の思いを聞き、丁寧に対応している。

③ 困っている友だちのことを心配するなど、思いやりを持てるよう援助している。

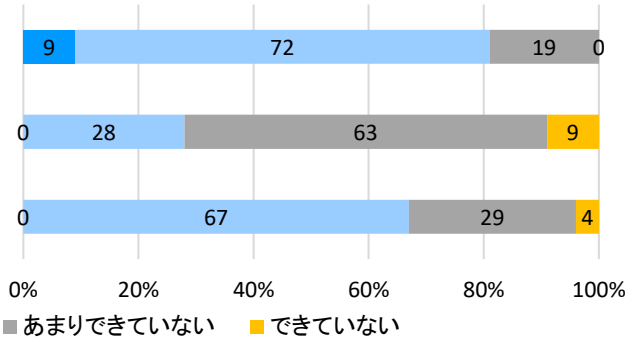
④ 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場面がある。



■　■できている　■あまりできていない　■できていない

環　境

① 身近な自然に興味・関心が持てるよう工夫している。
② 園庭や散歩で集めてきた葉や木の実など、季節感のある素材を保育の中で活用している。
③ 身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり、大切にしたり、作物を育てたり、味わうなどさせることで、生命の尊さに気づけるような環境を築けるよう工夫している。



言　葉

① 子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた言葉を使って保育をしている。
② 読み聞かせの時間を大事にしている。
③ 子どもが話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
④ 「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育している。
⑤ 子どもに正しく、美しい言葉で話しかけている。

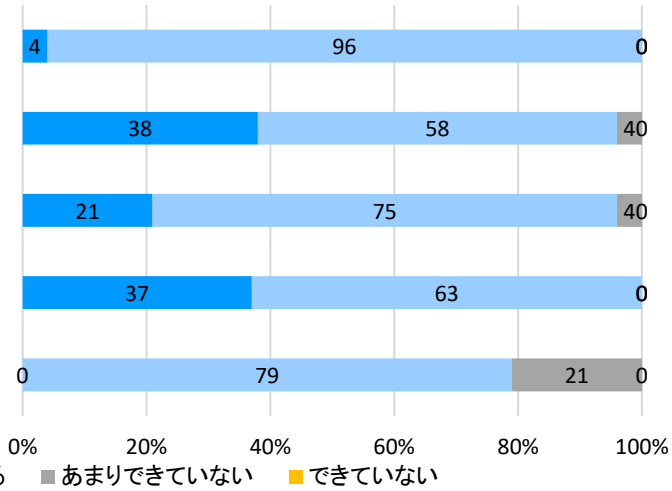
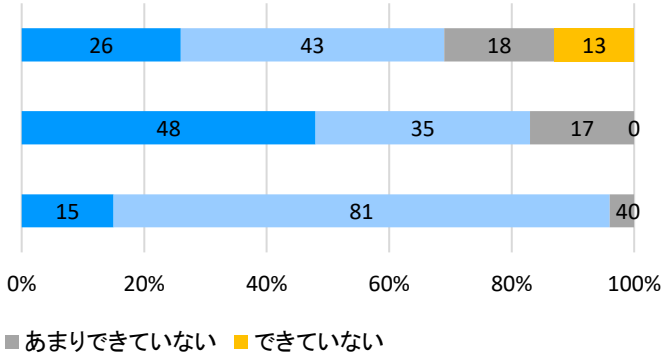


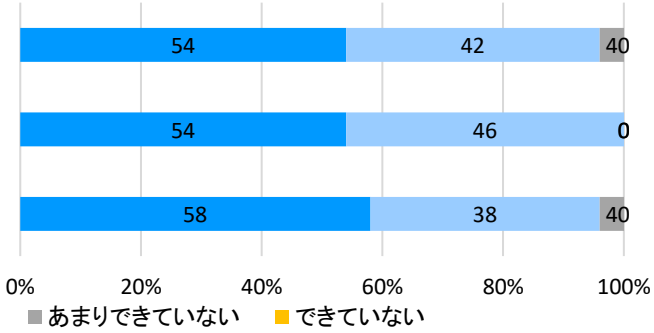
表　現

① 感じたことや考えたことを、自由に描いたり作ったりできる機会を設けている。
② 歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気付き、楽しめるよう援助している。
③ 色々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気付き、楽しめるよう援助している。



乳児保育

① 授乳は、子どもの欲しがる時を尊重し、抱いて目を合わせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと授乳している。
② おむつ交換は、優しく声を掛けながら行っている。
③ 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせている。

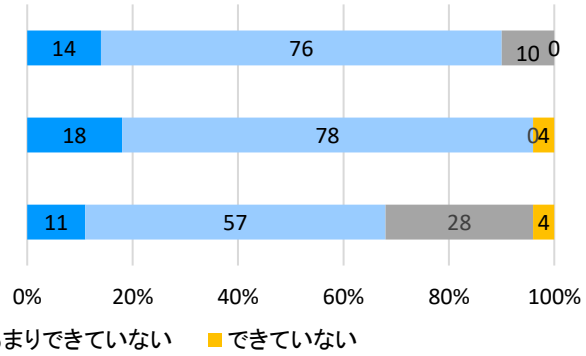


長時間保育・子どもの人権

① 長時間保育のために家庭的な雰囲気を作る事に配慮している。

② 「男の子だから〇〇しない」「それは女の子の色」「それは男の子の遊び」などと、性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮している。

③ できない子、理解の遅い子、支援を要する子などを中心にした保育をしている。

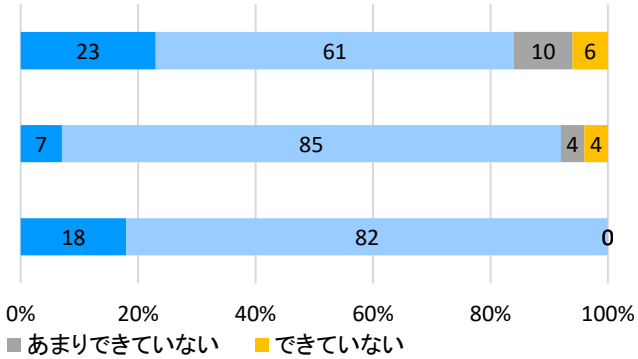


指導計画・健康管理・食事・食育

① 指導計画を子どもの発達の姿、興味・関心に基づいて見直し、次の計画作成に生かしている。

② 登園時や保育中の子どもの体調の変化に気付き、すぐに対応できるよう努めている。

③ 子どもが落ち着いて食事を楽しみ、感謝の心が育つよう指導している。



保育環境・職員や保護者との連携

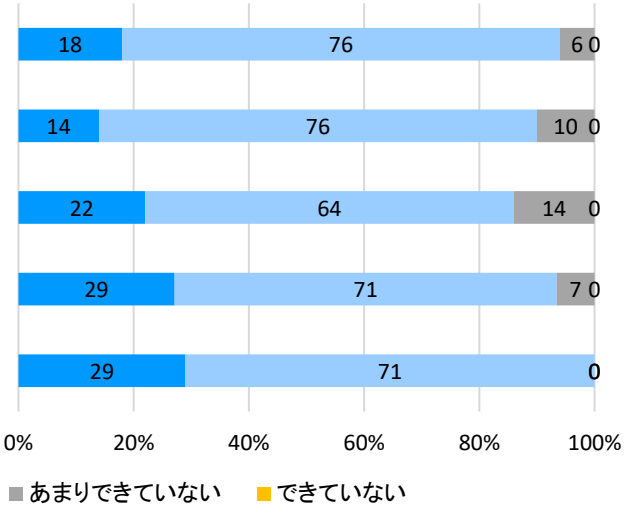
① 子どもが安心できる環境づくりを心掛けている。

② 職員間の信頼関係ができている。

③ 保育についての話し合いがなされ、意思統一ができている。

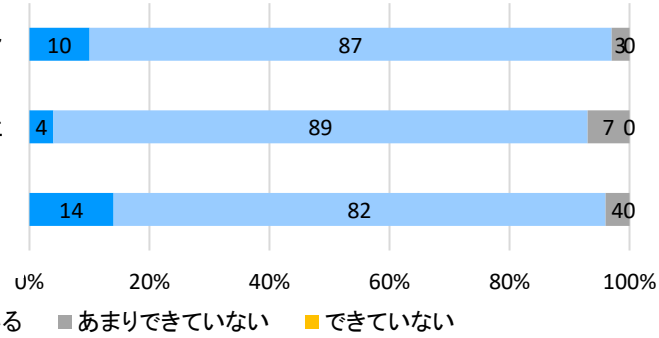
④ 保護者の思いを理解するように努め、丁寧に連携を進めている。

⑤ 保護者や子ども、来園者に笑顔で挨拶し、気持ちの良い受け入れをしている。



自己評価・管理運営

① 自分の保育実践について、園長や主任からの意見を感情的にならずに謙虚に受け止めている。

② 保育理念や基本方針を理解し、日々の保育活動にいかしている。

③ 事故や災害が生じた際に、きちんと対処できる。